

検証

戦争がもたらした負の遺産

旧陸軍登戸研究所

そこで研究開発されたものとは？

旧陸軍登戸研究所の全貌

— その背景と実態を検証する —
映像とパネルディスカッション

日時：**8月12日**（日）午後2時～ 会場：江戸東京博物館（学習室）

参加費：一般 **500**円 大学生 **300**円
（高校生以下無料）



講師：明治大学平和教育登戸研究所資料館館長 山田朗氏
明治大学文学部非常勤講師 渡辺賢二氏
風船爆弾製造に携わった当時の女学生 田辺浩子さん

- ◎ 最終兵器として使われた“風船爆弾”
- ◎ 細菌兵器・スパイ用兵器
- ◎ 中国で資材取引に使われた“偽造紙幣”

登戸研究所（正式名称：第九陸軍技術研究所）の活動は戦争の隠された裏面を示している。その研究内容や、そこで開発された兵器・資材は時に人道上、国際法規上大きな問題を有する。我々はこうした戦争の悲劇を繰り返してはならない。戦前日本軍が行った諸活動の一端を冷静に後世に語り継ぐ必要がある。

江戸東京博物館へのアクセス

- JR総武線両国駅西口から徒歩3分、東口から徒歩7分
- 都営地下鉄大江戸線両国駅（江戸東京博物館前）A4出口徒歩1分

主催：学生と高齢者との世代を超えた交流会“温個知新”

協力：NPO法人大江戸文化振興ネットワーク

お問合せ： 池田 080-3242-1552 PC: j_ikedaka39com@yahoo.co.jp
上藤 090-2635-4596 Mail: kami.921@docomo.ne.jp



渡辺賢二『陸軍登戸研究所と謀略戦』吉川弘文館